



「みたまのふゆ」とは、私共が常に蒙りいただいております大神様の恩徳、加護、御神威を尊称した言葉です。人間は自分ひとりの力で生きてゐるのではなく、つねに「みたまのふゆ」をいただいで、生かされてゐるのです。

瀬戸神社 夫婦びやくしん

「江戸名所図会」には瀬戸神社の本殿横に、びやくしん（新編武蔵風土記稿）を始め、江戸期の地誌類では「びやくしん」を「混柏」と表記してをります。古い大木が倒れて安置され、「蛇混柏」と説明が付いてゐます。古くは瀬戸神社の境内には多数の混柏があり、太い古木もあつたようです。

伊豆の伊古奈比咩命神社（白濱神社）の境内にもビヤクシンの古木が繁茂してをり、大瀬崎の引手力命神社（大瀬神社）のビヤクシン樹林は国の天然記念物にもなつてゐます。

瀬戸神社にビヤクシンが多くあつたのも、三嶋の神を祀る共通点とともに、古代からの伊豆半島方面との交流（特に海上交通による）があつたと想定できます。

一方、鎌倉の建長寺や円覚寺にもビヤクシンの古木があります。開山蘭溪道隆が大陸から持参した苗を植ゑたのに始まると伝承されます。かうした鎌倉文化の影響から大切に保護されたのかもかもしれません。

境内西側階段の脇に、雄木と雌木の二本のビヤクシンがあります。これを夫婦ビヤクシンと名付けて注連縄で結びました。家内安全・夫婦円満のよすがともなれば幸いです。

平成二十九年祭事曆

- ◎ 一月 一日 歳旦祭
鶏鳴神事
- ◎ 三月二〇日 春季大祭
祈年祭・合祀神例祭
- ◎ 五月一日 例大祭
神社本廳献幣使参向
琵琶島弁天社へ神輿渡御
- ◎ 四月二九日 昭和祭
- ◎ 六月三〇日 大祓式
大祓人形納め・茅の輪神事
- ◎ 七月 九日 天王祭出御祭
本社神輿御霊入・宮出渡御
- ◎ 七月 一日 三つ目神楽
無形文化財湯立て神楽
- ◎ 七月 一六日 天王祭巡幸祭
天王神輿町内巡幸
- ◎ 七月 二三日 手子神社例祭
- ◎ 九月 一日 浅間神社例祭
- ◎ 九月 一七日 熊野神社例祭
- ◎ 無形文化財湯立て神楽
- ◎ 一〇月 一五日 手子神社秋祭
無形文化財湯立て神楽
- ◎ 一二月 二三日 秋季大祭
新嘗祭
- ◎ 二月 八日 歳の市
開運熊手授与
- ◎ 二月 二三日 天長祭
- ◎ 二月 三二日 大祓式
大祓人形納め・古札焼納式
- ◎ 毎月 一日 月次祭